

第16回全日本ユース(U-16)水球選手権大会－桃太郎カップ－【戦評】

会場：倉敷市屋内水泳センター 【2023/12/27】

男子5位決定戦

山口県選抜

7

1	—	2
3	—	3
0	—	1
3	—	2

8

三重県選抜

PSO

宇田川佑里子

審判：

坂井 奎太

この試合のプレー集計

山口県選抜	25	SH数	26	三重県選抜
	4	速攻数	2	
	12	ST・SB	12	
	5	SH・P誘発アシスト	4	
	58%	GK阻止率	36%	
2	EX反則数	7		

ST・SB：ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

お互いに準々決勝が大きなヤマで、実力は高いものがあるが、組み合わせで敗者戦に甘んじてしまった形。双方、ユース世代を担う中心選手を軸とした戦い方だが、欲を言えば、少し失点が多い。攻撃相手にゴール前までボールを運ばれるケースが多く、中盤からのプレッシャーの掛け方などが改善されると、もっと上位を狙える力が備わってくるので、最後の一戦ではそうした次につなげられるような戦い方を期待したい。

【1P】

三重がゴール前で⑨山内が退水を誘発し、⑦小坂が決めて先制点をマーク。山口はセンター⑨長尾が決めて同点にするが、三重もシュート力のある⑨山内が打点の高いシュートを決めてリード。今後はいかにシュート力ある選手への対応がゲームの鍵を握りそうな展開となった。ピリオド後半は双方決め手を欠いて(それだけシュート力ある選手への対応ができるようになった)、山口1-2三重で第1ピリオド終了。

【2P】

三重がセンター②伊藤がディフェンスをうまく回して追加点を奪うが、直後に山口もエース⑦濱川がミドルSHで取り返す展開に。さらに三重が④山本がシュートのこぼれ球を決め、攻撃のたびに得点が入る状況になった。山口は⑦濱川が決めて1点差に迫る。山口が数的有利でゴール前に攻撃するが、三重が防いでから⑨山内が飛び出し、独泳で点差を広げる。直後の山口はエース⑦濱川が左サイドから決めて再び1点差に。その後はチャンスらしい展開が双方なく、山口4-5三重で前半を折り返した。

【3P】

双方ともにしっかり守る水球を展開し、わずかな隙を突いて三重④山本が追加点を奪ったが、全くの互角の攻め守りで第3ピリオド終了(山口4-6三重)。

【4P】

点差を詰めた山口が一気呵成に攻め上がり、右サイドから⑩長野がループを決めて1点差に迫る。三重のシュートミスを受けて6-5カウンター攻撃で⑧井上が決めて同点に持ち込む。ここで三重がタイムアウト。流れを引き戻すことができるか。しかし、三重のシュートを防いで山口⑦濱川がペナルティを誘発し、⑩長野が決めてとうとう山口がリードを奪った。しかし、三重も⑦小坂がゴール前へ泳ぎ込んでシュートを決めて再び同点に。

残り1分で三重④山本が渾身のセンターシュートを決めて、山口7-8三重。山口がタイムアウトで挽回を期すが、三重もよく守って、残り14秒で山口が最後のタイムアウト。GKを攻撃参加させての猛攻も、最後の6mSHをブロックされて試合終了。三重が僅差の勝利を収めて5位となった。

双方が持ち味を出した一戦で、特にディフェンス面では大きなミスもなかったことが接戦につながった。勝利した三重は山口のシュートをディフェンダーによるシュートブロックで止めたことが大きかったが、それだけ山口のシュートは足が止まったものも多く、シュート25本中15本がスタンディングであった。逆に言えば、ゴール前へのドライブなどの動きのある攻撃が不足していた。今後はそうした攻撃の幅を広げていくことで、さらなる成長を期待したい。